

7. 愛媛県松野町の文化的景観調査

京都府立大学文学部地理学研究室

愛媛県北宇和郡松野町目黒地区では、重要文化的景観の選定に向けた調査が実施されている。地理学研究室では目黒地区の文化的景観調査を実施した（写真1・2）。

・調査1

調査日時 2019年5月13～15日

参加者 上杉和央

調査内容 上目黒地区の垂直的な土地利用調査

・調査2

調査日時 2019年8月4～6日

参加者 上杉和央（教員）、佐野将大、篠原光、鈴木更紗（以上、3回生）、島本多敬（立命館大学特任助教→滋賀県立琵琶湖博物館）

調査内容 ①目黒地区の建物の向き、および防風施設の有無について、全戸調査を実施。

②目黒山形模型の熟覧

③17世紀時の建物分布と現在の建物分布の異同の調査。

④古老への聞き取り調査

調査結果によって、目黒地区とりわけ目黒川上流部には北西の季節風を防ぐための防風石垣や防風林を設置している家屋が見られること、そしてそれらの築造方法は多岐にわたっており、時期差のある可能性が指摘できることがわかった。

なお調査成果は、松野町教育委員会が作成中の調査報告書の基礎データとして利用される予定である。（上杉和央）



写真1 調査の様子①



写真2 調査の様子②